

第2回がんプロフェッショナル研修会

「悪性リンパ腫に対する Pharmaceutical care を ALL 薬剤師で考える」

〔講演〕／〔症例検討〕／〔SGD〕症例スモールグループディスカッション

- * 終了後、症例サマリーを作成、期日までに提出して頂きます。
- * プログラム全てを受講し、課題を提出した受講者にのみ単位認定いたします。

講座情報

悪性リンパ腫に対する Pharmaceutical care を ALL 薬剤師で考える

「悪性リンパ腫診療の進歩」

棟方 理

造血器腫瘍の一つである悪性リンパ腫は、WHO 分類改訂第4版(2017年)において90を超える病型が存在する多様な疾患の集合体である。抗CD20モノクローナル抗体であるリツキシマブの臨床導入は、B細胞非ホジキンリンパ腫の治療に革新をもたらしたが、それ以降も抗体薬や小分子化合物といった分子標的治療薬が開発され、作用機序の異なる様々な新規薬剤の臨床導入が進められ、その予後の改善が期待されている。さらに、抗PD-1抗体のホジキンリンパ腫に対する高い有効性が示され、悪性リンパ腫診療においても免疫療法の時代が到来しつつある。また近年、新規抗体薬物抱合体やCD19を標的とするキメラ抗原受容体発現T細胞療法が導入され、一部の悪性リンパ腫に対する治療体系を改変することが期待されている。本講義では、悪性リンパ腫診療の進歩について解説する。

《学習到達目標》

- ・悪性リンパ腫の代表的な病型に対する標準的治療法を理解する。
- ・悪性リンパ腫の治療において、様々な分子標的治療薬が使用されるが、それらの作用機序や注意すべき副作用について理解する。

「病院—保険調剤薬局間での上手いくやりとり」

葉山 達也 ・ 松澤 友里香

今般、連携充実加算の導入および専門医療機関連携調剤薬局制度の発足により、病院-薬局にとらわれない双方からの協働された薬物療法マネジメントが求められている。算定要件に含まれる形で研修会の開催や認定・専門薬剤師の取得が推進されているが、その先に求められることを改めて認識する必要がある。そのため、より具体的に患者へアプローチし、そのアウトカムがどう患者へ貢献できているかを評価することが重要と考える。本研修会では血液領域における双方の具体的な「やりとり」を紹介し、実際の現場で具体的な患者介入が実践できるようなスキルを共有したい。

《学習到達目標》

- ・保険薬局薬剤師(病院薬剤師)として患者さんへの関わりを具現化し、そのアウトカムを評価し、患者にとって最良になるようなスキルを修得する。

〔症例検討〕「悪性リンパ腫患者に対する Pharmaceutical care の実践」

中島 寿久

造血器腫瘍は他のがん種と異なり、少し苦手意識を持つ薬剤師は少なくないと思います。その理由として、他のがん種では使用されない抗がん薬が用いられたり、使用される薬剤が比較的多かったりすることが挙げられると思います。造血器腫瘍は入院で行う治療が多いですが、近年では外来での治療選択肢も増えてきています。そのため、薬剤師が治療に関わる機会も増えてきていると思います。もし造血器腫瘍に苦手意識を持っているようでしたら、今回の悪性リンパ腫の治療の症例を通して少しでも払拭できたらと思います。そして、患者さんの治療に貢献できるように副作用マネジメントについて、皆様と学びを深めたいと思います。

「実践!! ALL 薬剤師で質の高いがん薬物療法を実践する」

小林 一男

がん研究会有明病院 薬剤部チーフ

谷川 大夢

東海大学医学部付属病院 薬剤部

小澤 有輝

神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部

杉 富行

明治薬科大学 総合臨床薬学教育研究講座 循環薬理学 講師

辻 将成

株式会社アインファーマシーズ

村田 勇人

クオール株式会社関東第一薬局事業本部

トレーシングレポートとは、薬局薬剤師が患者から得た服薬状況や服薬期間中の副作用を含む体調変化などの情報を、医師にフィードバックするために作成し、残薬調整や処方提案などに繋げていくためのものです。改正薬機法が2020年9月から施行され、これまで努力義務とされてきた薬剤交付後の服薬フォローアップの義務化が明記されました。薬局薬剤師はフォローした内容を情報提供(フィードバック)するにあたり、医師などの他職種に適切に伝える必要があります。そこで今回は、薬学的アセスメントが処方に反映されるためにはどのようにすればよいか、病院薬剤師、薬局薬剤師の連携におけるロールプレイを通じて理解できればと思います。

《学習到達目標》

- ・悪性リンパ腫患者に対する薬物治療の処方鑑査ができるようになる。
- ・CTCAE v5.0 を用いて、客観的に副作用評価ができるようになる。
- ・トレーシングレポートを用いて情報提供ができるようになる。

参考サイト

薬剤使用期間中の患者フォローアップの手引き(第1.1版)(日本薬剤師会)

https://www.nichiyaku.or.jp/assets/uploads/pharmacy-info/followup_1.1.pdf

服用期間中フォローアップ事例と成果の収集(日本保険薬局協会)

<https://secure.nippon-pa.org/mail/img/npha20200911.pdf>

講演者情報

「悪性リンパ腫に対する薬物治療」

棟方 理

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 病棟医長

プロフィール

<学歴>

2004年3月 弘前大学医学部医学科卒業

2017年3月 弘前大学大学院医学研究科修了

<職歴>

2004年5月～2006年4月 東京都立駒込病院 臨床研修医

2006年5月～2009年3月 東京都立駒込病院 専門臨床研修医

2009年4月～2011年3月 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 がん専門修練医

2011年4月～2013年3月 公益財団法人 がん研究振興財団 リサーチレジデント

2013年4月～ 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 医員

2020年5月～ 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 病棟医長

<所属学会>

日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医、指導医)

日本血液学会(専門医、指導医)

日本臨床腫瘍学会(がん薬物療法専門医、指導医)

日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)

日本癌治療学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本消化器病学会

<その他>

JCOG リンパ腫グループ 代表委員

JCOG リンパ腫グループ若手医師会 事務局

JCOG ゲノム医療研究小委員会 委員

JCOG 患者参画小委員会 委員

「病院—保険調剤薬局間での上手いくやりとり」

葉山 達也

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 技術長補佐

プロフィール

<学歴>

2002年3月 日本大学薬学部生物薬学科卒業
2011年3月 日本大学大学院薬学研究科博士後期課程修了
2011年4月～2019年3月 日本大学薬学部客員研究員（兼任）

<職歴>

2003年4月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 入職
2015年4月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 主任
2021年4月 日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 技術長補佐

<所属学会>

日本臨床腫瘍学会、日本臨床腫瘍薬学会、日本がんサポーターブケア学会、日本癌治療学会、日本医療薬学会

<委員>

- ・日本臨床腫瘍薬学会；試験小委員会 副委員長
- ・日本臨床腫瘍薬学会；認定委員会 委員
- ・日本臨床腫瘍薬学会；ガイドライン委員会 血管外漏出小委員会、システマティックレビュー委員
- ・私立医大病院薬剤部研究会 理事

<取得認定>

平成 21 年 がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
平成 24 年 がん専門薬剤師（日本医療薬学会）
平成 24 年 認定薬剤師（日本医療薬学会）
平成 30 年 がん指導薬剤師（日本医療薬学会）
令和 3 年 指導薬剤師（日本医療薬学会）

参考文献

薬剤師が実践すべき副作用へのロジカルアプローチ【南江堂】
アドヒアランスに着目した経口抗がん薬服薬支援マニュアル【南山堂】
がん薬物療法のひきだし【医学書院】

松澤 友里香

アイン薬局島根 2 号店 薬局長

プロフィール

2014年3月 星薬科大学薬学部卒業

2014年4月 株式会社あさひ調剤入社

アイン薬局七里店勤務

2018年11月 アイン薬局島根2号店薬局長

2020年11月 日本大学医学部附属板橋病院にて1年間のがん研修

2021年11月 アイン薬局島根2号店薬局長

現在に至る

〔症例検討〕「悪性リンパ腫患者に対する Pharmaceutical care の実践」

中島 寿久

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任

プロフィール

2007年1月 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 薬剤科 入職

2012年3月 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 薬剤科 退職

2012年4月 独立行政法人 国立がん研究センター 中央病院 薬剤部 入職

2018年4月 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 薬剤部 無菌製剤主任（現職）

学位

2021年 薬学博士取得

資格等

日本医療薬学会 がん指導薬剤師、日本医療薬学会 がん専門薬剤師、

日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師、日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師、

日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師